



議会の主な動き

(令和4年5月～令和4年7月)

- 5月13日
留萌管内町村議会
議長会定期総会出
席のため議長小平
町に出張
- 5月19日～20日
北海道町村議会議
長会理事会出席の
ため議長札幌市に
出張
- 5月23日
留萌地域総合開発
期成会定期総会出
席のため議長羽幌
町に出張
- 5月25日
第4回議会全員協
議会開催
- 5月27日
第2回議会運営委
員会開催
- 5月29日～31日
全国町村議会議長・
副議長研修会出席
のため副議長東京
都に出張
- 6月9日
一般道道名寄遠別
線建設促進期成会
定期総会出席のため議長、総務産業
常任委員会副委員
長幌加内町に出張
- 6月10日
第5回議会全員協
議会開催
- 6月14日～15日
北海道町村議会議
長会第73定期
総会等出席のため
議長札幌市に出張
- 6月27日～6月28日
留萌地域総合開発
期成会臨時総会・
地元要望及び札幌
要望のため議長留
萌市・札幌市に出張
- 6月29日～7月1日
留萌地域総合開発
期成会中央要望の
ため議長東京都に
出張
- 7月5日
第5回議会報発行
特別委員会開催
- 7月6日～7月7日
北海道町村議会議
員研修会出席のため議長外議員6名
札幌市に出張
- 7月22日
第1回総務産業・
文教厚生常任委員
会合同会議開催
- 7月27日
第6回議会報発行
特別委員会
- 7月28日
自由民主党北海道
第十選挙区支部
留萌管内移動政務
調査会出席のため
議長留萌市に出張

第3回臨時会

4月28日の1日間を会期として開催し、専決処分承認2件、条例改正3件、財産の取得2件、発議1件、決議案1件の合計9件の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

行政報告

- ◆ 新型コロナウイルスワクチンの接種状況
- ◆ 令和4年度町内行事の状況
- ◆ 新型コロナウイルス感染症に伴う学年閉鎖

審議事項

- ◆ 専決処分承認
 - ・ 税条例等の一部改正
 - ・ 令和3年度一般会計補正予算(第8号)
- ◆ 町長等の給与等に関する条例の一部改正
- ◆ 職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆ 第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◆ 議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ◆ 財産の取得
 - ・ 除雪ドーザー 一式
 - ・ ホイールローダー 一式

主な補正予算

- 【一般会計】
- ◆ 公共施設等整備基金積立金 1億円増
- ◆ 建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料 19万8千円新規

決議案

- ◆ ロシアによるウクライナ侵攻に対する決議
提出者 小森議員
賛成者 柏谷議員、山本議員



第4回定例会

6月10日から6月13日までの4日間を会期として開催し、報告1件、監査委員の選任1件、条例改正・規約変更4件、工事請負契約の締結4件、補正予算2件、意見案1件、発議1件の合計14件の議案が提案され、原案のとおり可決しました。一般質問は、小森議員、山本議員2名が行い、会期を3日残り、閉会しました。

審議事項

- ◆ 監査委員の選任
 - ・投票による採決が行われ、國部雅人氏（本町3）が再任。
- ◆ 税条例の一部改正
- ◆ 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
- ◆ 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- ◆ 北海道市町村総合事務組合規約の変更
- ◆ 工事請負契約の締結
- ◆ 町立診療所建設工事（建築主体工事）
 - 契約金額 7億2,765万円
 - 契約の相手方 共栄・ハラダ・堀松
 - 特定建設工事共同企業体

*町立診療所建設工事（機械設備工事）

- ◆ 監査委員の選任
 - ・投票による採決が行われ、後藤・遠別・環境 特定建設工事共同企業体
- ◆ 公営住宅建設工事（建築主体工事）
 - 契約金額 1億697万5千円
 - 契約の相手方 株式会社 共栄

行政報告

- ◆ 新型コロナウイルススワクチンの4回目接種（詳細は18頁）
- ◆ 令和3年度各会計の決算概況
- ◆ 令和4年度国及び道所管の事業概要（詳細は18頁）
- ◆ 遠別農業高等学校海外研修の変更
- ◆ 第42回全日本バレーボール小学生大会北海道大会の出席

報告

◆ 繰越明許費繰越計算書

主な補正予算

- 【一般会計】
- ◆ 生涯学習センター無線LAN環境拡張業務委託料 165万円新規
- ◆ 空気循環式紫外線清浄機 623万円減
- ◆ 生活支援助成券交付金 2,450万円新規
- ◆ 1次産業原油価格高騰対策支援金 2,400万円新規
- ◆ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金 300万円新規
- ◆ 幼児センター屋根改修工事 1,500万円新規

意見案

- ◆ 新型コロナウイルススワクチン接種業務委託料 916万3千円増
 - ◆ 健康管理システム改修業務委託料（ワクチン接種記録システム連携） 37万円新規
 - ◆ 旧とんがりかん改修実施設計業務委託料 550万円新規
 - ◆ スポーツ少年団全道大会出場補助金 57万7千円新規
 - 【下水道特別会計】
 - ◆ 浄化センターLED照明リース料 37万円増
 - ◆ 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書 提出者 小森議員 賛成者 柏谷議員、山本議員
- 意見案は6月10日の議会定例会で採択され、国の関係機関に送付した。



町長からの行政報告（抜粋）



新型コロナウイルス
ワクチン4回目の接種

新型コロナウイルスワクチンの4回目の接種につきまして、重症化を予防するため、7月中旬からの接種開始を予定しております。

接種の対象となる方は、3回目の接種を終えてから5か月以上を経過している60歳以上の方及び18歳以上60歳未満の方で慢性的な病気などの基礎疾患を有する場合や重症化のリスクの高いと医師が認める場合となります。

5月末現在の接種対象者につきましては、60歳以上の方が1,100名であり、また、基礎疾患を有する方などにつきまして

は、事前に申請していただいてから接種対象の人数を把握する予定となっております。

なお、4回目接種のワクチンの種類につきましては、3回目接種の種類に関わらず、ファイザー製又はモデルナ製を使用することになるかというふうに考えられます。

今後につきましては、希望者全員への速やかに円滑な接種の開始に向けて準備・調整を行ってまいりますので、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。



令和4年度
国及び道所管の事業概要

留萌開発建設部所管の事業につきましては、国道232号の歌越地区において防雪柵設置工事が行われ、金浦地区において視線誘導灯設置工事、北里地区において交差点改良工事が予定されております。

また、遠別漁港では、今年度から南防波堤の改良が始まり、引き続き航路の浚渫、新北防波堤の補修が予定をされております。

次に、留萌振興局留萌建設管理部所管の事業につきましては、一般道道名寄遠別線の奥正修地区のトンネル前後において整備が進められ、遠別側では宇遠別トンネルの掘削、幌加内側では3号橋の上部床板工、地滑り対策工及び暫定土工が予定をされております。

また、東野地区においては、旧奥島橋解体工事が予定されております。産業振興部所管の事業につきましては、海岸保全整

備事業により、丸松地区、丸松1地区及び北里1地区において重力式護岸、消波ブロック製作・据付工事が進められ、昨年波浪により浸食を受けておりました北里海岸につきましては、災害復旧工事として海岸保全と同様な内容で工事が行われます。

治山事業では、中北里地区において、山腹面で崩落があり、引き続き小規模治山事業により、土留工事が進められており、今年度完了を予定しております。

また、北里地区及び金浦地区において、保育事業として下刈りが行われております。さらに、水産環境整備事業として引き続き遠別沖合魚礁設置工事が予定されております。



小森議員

問 公共事業における資材の価格高騰や納品遅れによる対応は。

笹川町長

答 受注者から申し出があった場合に協議し設計変更など対応する。

町政を問う

第4回定例会「一般質問」



問 国際社会の急激な変化により、輸出輸入の状況が大きく変化をし、生活物資等の価格高騰が続いている。

また、公共事業の建築資材・建設資材など工事全体に渡り急激な価格高騰や納品遅れなどに苦慮していると聞いているが、町が発注する公共事業の対応として次の2点について伺う。

1点目、工事等設計後に資材価格等が高騰した場合の対応は。
2点目、資材の納品遅れ等による、工期内工事未完了の対応は。

答 昨今、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響により原材料価格の上昇や

供給面での制約等が見受けられる状況となっている。

国土交通省が令和4年5月に行った、主要建設資材需給・価格動向調査によると、生コン、鋼材、木材など主要建設資材7資材13品目の価格動向は、セメント、生コン、骨材の砂、砂利・採石、アスファルト合材、異形棒鋼、H形鋼、木材の製材・型枠用合板、石油が「やや上昇」、骨材の再生砕石が「横ばい」、また、需給状況は、木材の型枠用合板が「ややひっ迫」、それ以外の資材は「均衡」となっている。

全国的に資材価格が上昇している状況であり、本町においても資材価格が上昇している状況であると把握をしている。
1点目の工事等設計後に資材価格等が高騰した場合、受注者から申出があった場合に資材価格等の変動状況を調査し、著しい変動があると認められる場合は、設計変更をし、契約金額を変更することとしている。
2点目の納品遅れ等による

対応についても、今までも気象状況による工事の遅延の際にも行っているが、納品遅れの場合も、受注者から申出があった場合に協議をし、工期の変更や年度末の場合は、事故繰越しの措置を講ずることとしている。

再質問

問 設計変更や、事故繰越しなど臨機応変に対応したいということだが、この辺も緻密な話し合いをしないと、工期工事を速やかにというところにつきつかなくなる。入札が不調になった場合に、速やかに工事が執行されない、工事が完了しないことが起こりうる。その辺も踏まえ、落札業者と話し合い、的確な工事価格の変更、設計などの協議をするべきでは。

中で輸入品目も含めて、価格が高騰していることは、今まではあまりなかった。そして、発注する段階においては、積算の基礎をもたなければいけないので、発注段階の価格と今の段階の価格と、価格差が出てくるのは、これはやむを得ないことと思っている。

それは、最初に答弁したように、落札業者とかなり厳しいという状況であれば、受注価格を調整しながら業者にも損害を与えないように、また、発注者としても過大な見積もりがないように調整をしながら進めていかなければいけない。

今後、落札業者と綿密に連携をとりながら進めていきたい。

答 工事を発注、起工、設計する段階で、基準となる価格表があり、それを基に設計をし、積算していくが、今年のように

いろいろな社会情勢、世界情勢の



山本議員

問 ヤングケアラー支援に向けて早期に実態調査する必要があるのでは。

笹川町長

答 地域自立支援協議会の機能を活用し実態把握に努めており、該当者はいない。

答

この問題については、まず、家庭内で子どもが置かれ

今年3月に栗山町ケアラー条例が制定され、また、全国でも支援に乗り出す自治体が増えつつあるため、本町においてもヤングケアラー支援に向けて早期に実態調査をする必要があると考えるが、町長の見解を伺う。

問

近年ヤングケアラーの増加が指摘されており、核家族化・ひとり親世帯の増加によって、家庭内で誰かが介護が必要になると、18歳未満の子どもに介護の負担がいきやすい世帯構造の変化が背景にあり、今後とも家族の介護をする子どもや若者は増えていくと考えられる。

国の調査によると、中学2年生の17人に1人、全日制高校2年生の24人に1人とされている。



ている生活の実態把握が何よりも大切であり、地域全体がこの問題を認識することが必要であることから、地域の見守りによって、このような家庭環境にある子どもの生活状況を早期に把握をし、ヤングケアラーの状態になった場合に、身近な大人に相談できる環境づくりが重要であると考える。

大人にとっては「子どもは地域の宝」であり、子どもにとっては「大人は身近な存在」であることを、日常生活の中で感じていける「遠別」でありたいと思っている。

現在、北海道で公立学校を通じて実態調査を行っており、その結果を踏まえ、教育委員会と情報共有するとともに、日頃より学校や社会福祉協議会、児童相談所、警察、民生委員、児童委員など多くの関係機関で構成する「遠別町地域自立支援協議会」の機能を活用し、要支援の可能性がある子どもの実態把握に努めており、現在該当者の報告はない。

再質問

問

ヤングケアラーの実態というのには、見ようとしても見えない存在だと言われている。また、見ようとしても見えにくいという存在でもあるとも言われている。こうした問題のある中で、把握は本当に難しい。個人情報保護条例や、家庭状況の問題を伏せたがる家庭が多いことも言われている。

2020年3月に、日本初となるケアラー条例が埼玉県で成立された。また、栗山町においては、全国市町村で初めてケアラー支援に対する「栗山町ケアラー支援条例」が今年4月に施行された。

ヤングケアラーの状態になった場合、身近な大人に相談できる環境づくりが重要と答弁されたが、我が町でもヤングケアラー条例を策定すべきと考えるが、再度町長の見解を伺う。

答

遠別町でもヤングケアラー条例をということだが、現状どう変わっていくのか、全く不明である。また、経済社会状況が

どう変わっていくかも全く不明の中で、調査をした結果、最初に答弁したように現在該当者はいない。

家庭環境の問題を表に出したくない感覚があることも認識しているが、児童委員、民生委員、社会福祉協議会ほか関係者と協議をしながら、見守りをしていきたいと思っているが、直ちにヤングケアラー条例をとすることは考えていない。

そういった実態が判明した場合には、家庭環境の状況を確認、家庭に必要な福祉サービスの紹介や定期的な家庭訪問等の支援を行い、子どもの心身の健康保持と、家族が安心できる生活の再構築ができるように力を注ぎたい。

条例制定も必要な事だが、その前に実態が判明した段階で、直ちにフォローできる体制を考えており、その後条例の制定を検討していきたい。



第5回臨時会

7月22日の1日間を会期として開催し、補正予算2件の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

行政報告

- ◆令和4年度町内行事の状況
- ◆遠別町生活支援助成券の配布状況（詳細は下段）
- ◆全日本バレーボール小学生大会及び北海道中学校体育大会の出場

主な補正予算

- 【一般会計】
- ◆プレミアム商品券発行事業補助金 400万円増
- ◆住民税非課税世帯等臨時特別給付金 100万円増
- ◆スポーツ少年団全国大会出場補助金 260万4千円新規
- 【国保病院事業会計】
- ◆職員公宅（医師住宅）新築工事 1,000万円増



町長からの行政報告（抜粋）

第5回臨時会

遠別町生活支援助成券の配布状況

原油価格の高騰対策として、6月1日現在、住民票に登録された2,443人の町民を対象に配付しております。遠別町生活支援助成券の配布状況についてご報告いたします。

7月4日から簡易書留により順次配付を開始し、7月20日現在、全町民の99%の配付が完了いたしました。

未だ政府において実施しております価格高騰に対する支援策の効果もみられない中で、いろいろな物価上昇がいつ治まるか先行きが見えない状況でございます。当町といたしまして、この後、上乘せ分のついたプレミアム商品券発行事業の実施など、町民生活の支援を進めてまいりますので、町民の皆様及び議員各位のご理解とご協力を併せてお願い申し上げます。

北海道町村議会議員研修会

7月6日、札幌コンベンションセンターで、北海道町村議会議員研修会が開催され、遠別町から議員7名、事務局職員1名が出席した。

本研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3年振りに開催。今年度は新型コロナウイルス感染症対策をし、出席者が同じ空間に留まる時間を短く、座席を分散するため、全道14地区を2分割し、2部制で分散開催された。

講師は、早稲田大学を卒業後、時事通信社へ入社し、首相官邸の記者生活をスタートし、永田町・霞が関で40年以上に渡り政治を見続けた、政治ジャーナリスト 泉 宏氏が「参院選最終情報分析と選挙後の政局展望」と題し、講演された。



写真【泉 宏氏】

北海道町村議会議長会表彰

6月14日開催の北海道町村議会議長会第73回定期総会において、北海道町村議会議長会表彰規程に基づき、令和4年自治功労者として、「町村議会議員として15年以上在職」の木村秀雄議員が表彰され、7月22日開催の第5回臨時会に先立ち、議場において表彰状の伝達を行った。



シリーズ えんべつ町民 独占インタビュー Vol.11

◎遠別町の住民をピックアップし、まちの印象や、行政、議会に対する思いなどをインタビューし、議会活動に役立ていきます。

第 42 回全日本バレーボール小学生大会北北海道大会に出場、見事優勝し、8月に開催される全国大会に出場する『バレーボール少年団遠別イーグルス』取材しました。

試合に出て緊張した時はどうしてる？
一回落ち着くようにしています。

全国大会への意気込みは？
・今までの練習の成果を出したい。
・自分のバレーをする。

全国大会の目標は？
優勝します！



遠別イーグルス 代表 (男女混合)

左から
キャプテン 小西出 隼翔くん
ゲームキャプテン 高橋 翔愛くん
副キャプテン 吉田 陽葵さん



団長
清水 道彦
さん

全国一を目指して取り組んでいけるので、その気持ちを忘れず、応援する体制を作るので、頑張ってください。



監督
橋谷田 輔省一
さん

チーム目標の3つの常ショウ（常翔、常勝、常笑）を胸に、志を高く持ち、育てほしい。小学校をピークにするのではなく、中学校、高校でも活躍できるよう頑張ってください。



コーチ
笹川 浩規
さん

遠別イーグルスは、昭和 63 年度に結成され、総勢 34 名で活動しています。6月に中標津町で開催されました、第 42 回全日本バレーボール小学生大会北北海道大会（男女混合の部）で見事に優勝し、関東地方で8月9日から 12 日までの日程で開催される全国大会へ出場します。



全国大会に向けてチームの状況は？

大会までの期間に仕上げと練習がきちんとできるかどうかにかかっています。

チーム育成・試合分析・実行力

監督もコーチもお互い勤めている会社と一緒に、チームのここが弱いよね、こういうのがダメだよねというのは、常日頃話しています。

また、試合では対戦チームを見ると2人とも、ここを攻めたら上手く点数を取れるだとか分析ができるので、その分析したことを実行できる選手がいるのが強みだと思います。



全国大会でも珍しい一つの小学校でのチームを構成、全国大会出場へ

よその町では、少年団に入りバレーをする、そういう子ども達が増えない、少なくなっていく、近隣の学校などで選手を集め、出場するチームもある。都会にいくとそういうチームはたくさんあります。そして、全国にいくとそれが当たり前で、運動神経の良い子、バレーのできる子を集めチームを作っています。全国でベスト 8 あたりのチームで一つの小学校で参加しているのは、うちぐらいです。それも、在校生 101 人の小さな規模の学校でそういうチームはないので、驚かれます。

議員出席状況

令和4年5月1日～令和4年7月31日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等				特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤								
	開催 日数 ①	出席内容			出席 日数 計 ②	欠席内容			総務 産業 1	文教 厚生 1	議 会 運 営 1	全 員 協 議 会 2	議 会 報 発 行 2	決 算 審 査	予 算 審 査	開 催 日 数 合 計 ①+③ ⑤		出 席 日 数 合 計 ②+④ ⑥	欠 席 日 数 合 計						
		全 日 出 席	遅 刻	早 退		慶 弔	病 欠	そ の 他												出席内容			欠席内容		
																				全 日 出 席 ③	遅 刻	早 退	出 席 計 ④	慶 弔	病 欠
西畑 広男	2	2			2				4	4			4			6	6		100.0%						
小森 嘉孝	2	2			2				6	6			6			8	8		100.0%						
白井 金治	2	2			2				5	5			5			7	7		100.0%						
柏谷 美春	2	2			2				4	4			4			6	6		100.0%						
木村 秀雄	2	2			2				3	3			3			5	5		100.0%						
千葉 光悦	2	2			2				3	3			3			5	5		100.0%						
大石 幸夫	2	2			2				3	3			3			5	5		100.0%						
山下 悟	2	2			2				5	5			5			7	7		100.0%						
山本 仁美	2	2			2				4	4			4			6	6		100.0%						

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**9月12日頃**の開催予定です。

【お問い合わせ】
議会事務局
電話 7-2147 (直通)
メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp

詳しくはテレビ電話でご確認ください。



タイトル写真



遠別イーグルスに提供いただきました。

発行：遠別町議会
編集：議会報発行特別委員会
委員長 小森 嘉孝
副委員長 山下 悟
委員 白井 金治

あとがき (小森委員長)

西暦2000年を超えた今、世界中の時代が変わっていく現実を目の当たりにしなければいけない。コロナウイルスが発生し、ウクライナ侵攻が起こり、民主主義が脅かされ、気象も大きく変わっている。今まで色々なことを乗り越えた平和で豊かな日本は、現在デジタル化社会が超スピードで進み、どんな国に変化するのか？しかし世の中の環境が大きな変化をしても平和で安心して暮らせる日本であることを渴望している。

